



消防大学校だより

幹部科における教育訓練 ～時代の変化に合わせた教育について～

「幹部科」は、昭和34年度に消防大学校の設立とともに「本科」として始まり、平成18年度に総合教育の学科として、消防組織の中核である消防司令への昇任時に幹部職員として重点的に育成するために、整理・統合を行い生まれた学科です。当初の「本科」では、6か月の教育訓練期間で実施していましたが、現在は、eラーニングやリモート講義を導入し、約2か月の教育訓練期間とし、年間4回実施しています。コロナ感染症の流行に伴い、昨年度は、途中から受入人数を各期60名から48名に減らしましたが、今年度は、若干増やし、各期54名で実施しています。

本年度は、昨今の消防行政を取り巻く環境や時代の変化を踏まえ、下記のとおり授業科目の新設や、カリキュラムの一部見直しを行いました。

特に、定年引上げについては、1 制度や課題解決の方策への理解、2 健康管理、3 体力の維持管理の3つの課題について、それぞれ授業科目の新設と既存の講義の拡充を図りました。

- 定年引上げに伴う課題及び対応策について（新規）
喫緊の課題である定年引上げについて、制度の概要、検討会・研究会の結果報告、消防体制の現状、全国の消防本部における取組状況などについて理解し、各本部において課題解決のヒントとなることを目的に導入しました。
- 身体管理（拡充）
消防職員として永く活躍していくために、健康管理が必要不可欠であることから、食事の際に気をつけることなどを追加しました。
- 体力管理（拡充）
永く幅広い職種で活躍していくためには、体力の維持管理が必要不可欠であることから、体力測定方法やけが防止のストレッチなどを追加しました。
- 消防におけるDX（新規）

今後の少子化、高齢化、若い職員の経験不足等の課題解決にはDXの有効活用が求められており、各本部でのDXの推進を図るため導入しました。



体力管理 シャトルランをする学生

また、昨年度まで、講義資料をカラー印刷して配布していました。幹部科では、1人あたり幅10cmのチューブファイル2冊がすべて埋まるほどの量でした。そこで昨今のSDGsの目標達成への貢献も踏まえて、ペーパーレスでの講義を導入しました。以前から、ノートパソコンは学生に貸与していましたが、講義資料のデータをPDFにして、共有フォルダに格納し、学生がダウンロードした上で、講義中にパソコンで閲覧しながら受講する方式です。懸案だった、ノートパソコンの電源も、教室の天井から吊り下げたコンセントからとれるように改修しました。訓練や実技を伴うものは、紙で配付せざるを得ませんが、それでも、配付資料を約1/3までに削減することができました。紙の使用量だけでなく、プリンターのトナーの節約や印刷にかけていた手間や時間の削減も図れました。講師の方々からも、好意的に捉えていただき、講義自体も、問題なく終えることができました。しかし、一部の学生からは当初、「メモがとりづらい。」「紙で配付してほしい。」との声が上がりました。そこで、あらためてPDFでのメモの取り方の説明を行ったところ、学生からの否定的な意見もなくなりました。



ペーパーレスの講義
(天井から吊り下げられたコンセント)



消防大学校だより

幹部科第73期は、5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に移行となつてからの入校となり、昨年度の制限よりも緩い学校生活となりました。具体的には、班員以外との飲食も可能となり、また、校外での飲酒は禁止としましたが、外出外泊も制限がなくなり、視察（宿泊は不可）も可能となりました。外出外泊の機会が増えれば、感染者が出ることを予想しつつも、4週間目までは何事もなく過ぎていきましたが、残り2週間となったところで、1名感染者が発生。その後、毎日感染者が発生し、幹部科だけで合計10名の感染者が発生しました。同時期の警防科、予防科でも、次々と発生し、合わせると合計29名の感染者が発生しました。

感染者が発生するたびに、感染対策を厳しくしていきましたが、寮生活という環境では、なかなか感染拡大を止めることができず、一時期は、療養部屋が満室となり、空いている教室に簡易ベッドとパーティションで療養部屋を作成しました。ギリギリのところ、そちらの部屋を使用することにはなりませんでしたが、あらためて5類に移行しても、感染力は変わらないことを思い知らされました。それでも幸いなことに、54名全員がそろって、卒業式に出席し、卒業することができました。

世間では、新型コロナウイルス感染症の対策も緩くなり、マスクをしている人も少なくなってきました。その中で、学生には厳しい感染症対策を強いることは、心苦しいですが、感染拡大を防ぐのが難しい寮生活、参加人数が減るとできない訓練等があり、今後も感染対策と充実した消防大学校での生活のバランスを見て、時代に合わせた充実したカリキュラムを提供できるよう取り組んでまいります。

厳しい感染対策ではありますが、それ以上に幹部科は、総合教育として、幅広い講師の方からの講義、学生同士の絆など、得るものは非常に多い学科だと思います。皆様の入校申請をお待ちしております。



54名全員そろっての卒業式

教育訓練の実施状況（令和5年4月～8月実施分）

令和5年4月から8月実施分の教育訓練及び卒業（修了）生は、次のとおりです。

| 学科・コース名 | | 教育訓練期間 | | | 卒業(修了)者数 | |
|---------------|-------|----------|---|----------|----------|-----|
| 幹部科 | 第73期 | 6月12日(月) | ～ | 7月27日(木) | (46日間) | 54名 |
| 新任消防長・学校長科 | 第33期 | 5月9日(火) | ～ | 5月19日(金) | (11日間) | 42名 |
| 消防団長科 | 第83期 | 7月24日(月) | ～ | 7月28日(金) | (5日間) | 28名 |
| 警防科 | 第112期 | 6月15日(木) | ～ | 8月3日(木) | (50日間) | 47名 |
| 救助科 | 第86期 | 4月19日(水) | ～ | 6月9日(金) | (52日間) | 49名 |
| 予防科 | 第114期 | 6月14日(水) | ～ | 8月2日(水) | (50日間) | 30名 |
| 火災調査科 | 第44期 | 5月25日(木) | ～ | 7月12日(水) | (49日間) | 30名 |
| 指揮隊長コース | 第28回 | 4月20日(木) | ～ | 5月2日(火) | (13日間) | 60名 |
| 危機管理・国民保護コース | 第48回 | 5月11日(木) | ～ | 5月18日(木) | (8日間) | 44名 |
| 査察業務マネジメントコース | 第7回 | 5月25日(木) | ～ | 5月31日(水) | (7日間) | 48名 |
| 合 計 | | | | | 432名 | |

問合せ先
消防大学校教務部
TEL 0422-46-1712